

平成23年台風12号災害の被災状況について

和歌山県 田辺市

1. はじめに

紀伊半島の南西側、和歌山県の南部に位置する田辺市は、平成17年に5市町村が合併し、面積1,026km²と和歌山県全域の約22%を占める近畿で最も広い面積を有する市であります。

地形は、西よりの海岸部に都市的地域を形成するほかは、森林が大半を占める中山間地域が広がり、水系としては^{ひだかがわ}日高川水系、^{あいづがわ}会津川水系、^{とんだがわ}富田川水系、^{ひきがわ}日置川水系、^{くまのがわ}熊野川水系の5水系を抱えております。

市域には、美しい海・山・川の大自然を始め、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された「熊野古道」や「熊野本宮大社」に代表される古い歴史や文化、日本三美人の湯として知られる「龍神温泉」や日本最古の湯といわれる「湯の峰温泉」などの温泉郷、温暖な気候と風土の恵まれた特産物など、人々の心と身体を癒す豊かな自然環境や、多彩で魅力的な地域資源を数多く有し、古から、豊かな自然との共生のなかで、地域の文化や伝統などを育んできた地でもあります。

本市の道路状況は、紀伊半島の大動脈である国道42号が海岸部に沿って走り、紀南地域の政治、経済、産業の中心地である、市南西部の中心市街地を縦断するとともに、近畿自動車道紀勢線によって県都和歌山市や京阪神と結ばれています。

また、中心市街地と旧町村（龍神・中辺路・大塔・本宮地区）とは、それぞれ国道や県道によって結ばれています。



道路状況

(平成24年4月1日現在)

	国道 (指定区間内)	国道 (指定区間外)	県道	市道
路線数 (本)	1	5	26	2,943
総延長 (m)	12,406	233,310	256,055	1,378,971
規格改良済延長 (m)	12,406	155,038	144,429	563,644
未改良延長 (m)	0	51,164	103,098	801,784

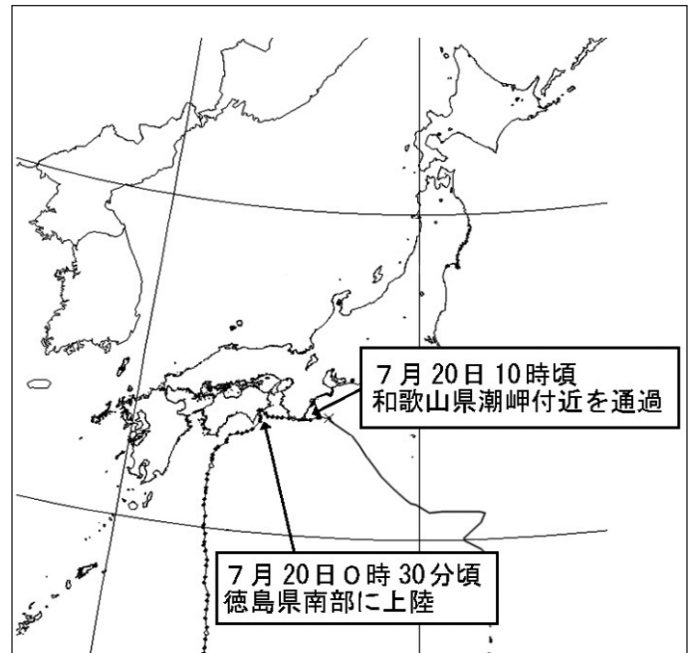
2. 平成 23 年の災害（2 度の台風による甚大な被害）

(1) 台風 6 号

7 月 12 日に南鳥島近海で発生した台風 6 号は、強い勢力を保ったまま南大東島の東海上を北上し、19 日には四国沖で東に向きを変え、20 日 0 時 30 分に徳島県南部に上陸した後、10 時頃潮岬付近を通過しました。

この台風 6 号は動きが遅く、台風から暖かく湿った空気が西日本に流れ込む状況が続いたため、紀伊半島を中心に各地で大雨となり、田辺市内の多い所では、降り始めの 17 日 12 時から 20 日 12 時までの総雨量が 1,000 ミリを超えるとともに、日雨量でも 700 ミリを超える所もありました。

この台風 6 号の暴風雨により、市の公共土木施設では、3 件の地すべり災害が発生するなど、道路損壊や護岸損壊など数多くの被害が発生しました。



本市の主な地域の雨量（7 月 17 日～ 20 日）

箇所	総雨量	最大時間雨量	最大 24 時間雨量
田辺	351 mm	21 mm	282 mm
龍神村 殿原	518 mm	27 mm	396 mm
中辺路町 栗栖川	485 mm	25 mm	373 mm
熊野（いや）	863 mm	39 mm	639 mm
下川上 大杉	1,048 mm	62 mm	784 mm
本宮町 静川	953 mm	47 mm	583 mm

(2) 台風 12 号～紀伊半島大水害～

・気象状況

8 月 25 日にマリアナ諸島の西の海上で発生した台風 12 号は、発達しながらゆっくりとした速さで北上し、28 日には強風半径が 500km を超えて大型の台風となり、30 日には中心気圧が 965hPa、最大風速が 35m/s の大型で強い台風となりました。

台風は、その後もゆっくりとした速度で北上を続け、9 月 2 日には暴風域を伴ったまま北上して四国地方に接近し、3 日 10 時前に高知県東部に上陸しました。その後、台風はゆっくりと北上して四国地方、中国地方を縦断し、4 日未明に日本海に進み、5 日 15 時に日本海中部で温帯低気圧となりました。



台風が大型で、さらに台風の動きが遅かったため、長時間にわたって台風周辺の非常に湿った空気が流れ込み、西日本から北日本にかけて、山沿いを中心に広い範囲で記録的な大雨となりました。

特に紀伊半島では、8月29日からの総降雨量は広い範囲で1,000mmを超え、田辺市内でも、下川上大杉（旧大塔村）で1,998mmを記録するなど激しい雨となりました。

本市の主な地域の雨量（8月29日～9月4日）

箇所	総雨量	最大時間雨量	最大24時間雨量
田辺	713 mm	53 mm	466 mm
龍神村 殿原	1,054 mm	62 mm	599 mm
中辺路町 栗栖川	1,067 mm	47 mm	594 mm
熊野（いや）	1,350 mm	45 mm	669 mm
下川上 大杉	1,998 mm	66 mm	920 mm
本宮町 静川	1,532 mm	57 mm	794 mm

・公共土木施設の被害状況

梅雨や台風6号豪雨の一連の降雨で、地盤が緩んでいた所に、台風12号の長時間に渡る大雨により、市内の至る所で、河川の氾濫、浸水、土砂崩れ、土石流、山腹の崩壊などが発生し、公共土木施設でも甚大な被害を受けました。

公共土木施設の被災件数（旧市町村別）

単位：件

地区	道路	橋梁	河川	小計
田辺	40	5	1	46
龍神	17	—	7	24
中辺路	22	—	1	23
大塔	7	2	2	11
本宮	12	1	1	14
田辺市 合計	98	8	12	118



田辺市上秋津（田辺地区）、被災延長 L = 83 m



田辺市上芳養（田辺地区）、被災延長 L = 16 m



田辺市龍神村丹生ノ川（龍神地区）、被災延長 L = 33 m



田辺市龍神村安井（龍神地区）、被災延長 L = 43 m



田辺市中辺路町福定（中辺路地区）、被災延長 L = 43 m



田辺市中辺路町高原（中辺路地区）、被災延長 L = 46 m



田辺市熊野（大塔地区）、被災延長 L=1,696m、他 3 件





田辺市本宮町三越（本宮地区）、被災延長 L = 323 m



田辺市本宮町下湯川（本宮地区）、被災延長 L = 114 m

・災害復旧に向けた取組

本市では、早急な復旧対応のため、必要な箇所には応急措置を施すとともに、国土交通省や関西広域連合から土木技術職員の派遣応援や支援をいただき、測量、調査、設計に取り組み、平成 23 年 11 月 7 日に始まった第 6 次査定から、12 月 22 日に終えた第 11 次査定まで計 5 回に渡る災害査定を受け、全ての査定を終えました。

振り返ってみれば、100 件を超える多大な災害査定を短期間で終えることができたのも、迅速な現地調査や測量設計に支援いただいた、国土交通省を始めとする関係機関の協力の賜物と思います。

その後、平成 24 年 1 月中旬から順次工事発注を行い、平成 24 年 3 月末までにほとんどの工事発注を終えることができました。

ただし、甚大な被害を受け、国土交通省による緊急砂防事業が行われている熊野及び本宮町三越地区の道路災害の復旧については、国土交通省、和歌山県との施工調整を行いながら復旧工事に着手するよう

公共土木施設における災害査定件数

単位：件

査定次	査定日	道路	橋梁	河川	小計
第 6 次査定	H23.11. 7 ~ H23.11.11	49	-	-	49
第 7 次査定	H23.11.14 ~ H23.11.18	10	-	-	10
第 8 次査定	H23.11.28 ~ H23.12. 2	15	-	3	18
第 9 次査定	H23.12. 5 ~ H23.12. 8	-	-	-	-
第 10 次査定	H23.12.12 ~ H23.12.16	7	-	3	10
第 11 次査定	H23.12.19 ~ H23.12.22	17	8	6	31
田辺市 合計		98	8	12	118



関西広域連合からの応援派遣職員への被災状況等概要説明



市道災害の現地測量調査
(田辺市本宮町大居（本宮地区）、被災延長 L = 102 m)

考えています。

また、本市は観光や農林業などの地場産業によって支えられていますが、これらの地場産業も各地で大きな被害を受けました。

地域産業の立て直し、また地域の復旧、復興には、道路等の社会基盤の復旧整備が何よりも最優先の課題と考え、一日も早い復旧に取り組んでいます。

3. おわりに

台風 12 号の豪雨により住家やライフラインの被害等、多数かつ甚大な被害を受けました。

これは、想像をはるかに超える大災害で、当然現職員がかつて経験したことがなく、非常に大きな自然の驚異をまざまざと感じるものでした。

この災害により、国道や県道の幹線道路に始まり、生活道路である市道が至る所で被災し、道路交通網が寸断され、一部の地域では集落の孤立が発生するなど、公共土木施設のなかでも、とりわけ『道路』は、市民の皆様方にとっても最も身近な生活基盤であるとともに、非常に重要な社会基盤であることを改めて認識しました。

このことは、被災地域の復興には、『道路』の災害復旧が必要不可欠ということにもつながりますので、今後も引き続き全ての災害復旧事業の早期完了を目指し取組を進めるとともに、災害時にも対応できる多重化した道路交通網の整備の必要性を感じるものでありました。

最後に、平成 23 年台風 12 号の災害から 1 年が経ちますが、災害復旧に当たり、全国各地から多面に渡り温かい支援をいただきましたことに感謝申し上げます。



甦りの地 『熊野』